

「元気な会社」は ひとあじ違う!

ガンバレ! 福知山元気印企業

2014



製造業編

福知山市中小企業サポートセンター

多様なニーズに幅広く対応！期待の新製品六角レンチ・ビットスタンド特許取得

有限会社塚口鉄工所

ツカグチテッコウショ

TEL	0773-22-6180
E-mail	t-iw@estate.ocn.ne.jp
URL	http://www7.ocn.ne.jp/~t-iw/
所在地(本社)	京都府福知山市字堀下高田2381番地
代表者	塚口 智
従業員	男：7名 女：3名 計：10名
主要製品	主に金属の工作技術を持ち、一般産業機械及び部品などの設計製作。 平成22年よりインターネットサイトにて六角レンチスタンド及び六角ビットの製造販売。
製造内容及び得意技術	製缶及び機械加工から設計まで一貫して行っている。 今ではその経験を生かし多様な生産現場を助けるサービスを行っている。
ひとあじ違うマーケティング等	生産現場がお客様
資格・特殊技能・特許等	特許
経営理念	私達はお客様に喜ばれる仕事を通じて世の中の発展と繁栄に貢献し社員全員の物と心の幸福を追求すること

主な機械設備

名 称	能 力	メーカ－	台数	名 称	能 力	メーカ－	台数
マニシングセンタ		Mazak	6	平面研削盤		Wasino 他	2
フライス盤		オオクマ 他	3	プレス		Amada 他	2
旋盤		Mazak 他	7	溶接機		DAIHEN 他	9
放電加工機		ジャパックス	2	切断機		Amada 他	8

沿革

大正12年(1923年)	塚口鉄工所創業
昭和24年(1949年)	セメント瓦・焼瓦の金型・型枠製作
昭和44年(1969年)	80トンプレスセメント瓦製造設備のセット製作
昭和49年(1974年)	有限会社 塚口鉄工所設立
平成6年(1994年)	高速自動巻取り・巻返し機製作
平成15年(2003年)	ミートボール成型機製作
平成22年(2010年)	六角レンチスタンド・六角ビット製作

1 これが我が社のモットー（社是）

製品は、買う身になって作る



代表取締役 塚口 智 氏

経理担当 塚口 晴美 氏

2 得意な製品技術

当社は、金属・樹脂の工作技術を持ち、多品種少量、部品1個から設備機械の開発に至るまで、対応することが可能である。

■ 生産現場がお客様

発注元より効率的な作業・より高い品質を実現するため、生産の現場へ機械・部品・治具等を供給している。



■ 要求は多種多様



大手メーカーをはじめ、顧客から要求される技術は多種多様にわたる。生産技術の現場、設備管理の現場での様々な要求に対し確実に応えている。

■ ミートボール成型機は当社製

ある有名な食品メーカーから、うまくミートボールを成型できなくて困っているとの話が舞い込んだ。そこで、当社長がアイデアを出して試したところ、うまく成型できたことがある。

2003年には当社長が設計製作したミートボール成型機を試すと驚くほどうまくいき、現在も順調に動いている。

それ以来この食品メーカーが持つ3つの工場には、全て当社の成型機が使われている。

■ 他社とは違う、技術が一番

ある時、発注元に「技術と価格、どちらを選ぶのか？」と訊ねたことがある。

「もちろん安くて良い品が一番である」と言われたが、当社は価格で競争するのではなく、技術を買ってほしいとの思いである。他社にはない、それだけの高い技術と自信が当社には有るので、それにより確実な製品を作り、納期など顧客ニーズに応える事も大切な技術の一つであると考えている。

■ 特許取得、期待の新製品六角レンチ・ビットスタンド開発

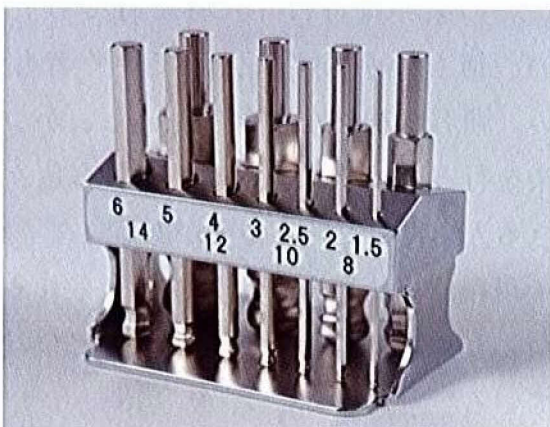
現場で使っている人は感じているかと思われるが、六角レンチ、六角ビットは大小様々なサイズがあり、作業時にサイズの合ったものをスムーズに探し出すことは困難であり、作業に支障を来すこととなる。

その原因は、サイズごとに一旦整理しても、何人かで使っているうちにバラバラになってしまいうからである。

「なにか良い整理方法はないか」ずっと考えていたところ、それがこのスタンドの開発に繋がった。

この新製品なら、どのサイズも一目瞭然であり、しかも片手で出し入れができる。収納も簡単、スタンドをそのまま見えるところに置くだけである。当社の金属加工技術を以ってして製作できたものであり次の製品も検討している。国内特許取得済、さらにはPCT国際出願中である。

販路について、現在はウェブサイトでの宣伝・販売を試みている。



■ ロボットを作りたい

ずっと持ち続けている夢がある。いつかは当社の技術でロボットを作りたいとの夢である。六角レンチスタンドの事業がロボット開発の足がかりになればと思っている。

3 新しい市場やユーザー顧客

■ 他社がやらないところをやる



顧客が面倒なことを言うてくる事も多い。納期であったり技術であったり。そんな時でも、できるだけ要望に応じていくことが、当社の価値だと考えている。

■ 休日の対応

「明日ほしい」と電話がかかってきたら、休日でもできる限り対応している。盆・正月に対応していることも多い。

4 信頼品質の確保体制

■ 特許への対応

食品メーカーの成型機を製作したときもそうであったが、アイデアを出したのは当社長である。特許申請の話もいくつかあったが断った。

「自分は食品メーカーから頼まれて一生懸命作っただけである。主役は発注元である食品メーカーなのだから」と意に介さない。ものづくり一筋の社長らしい逸話である。

■ 人材教育

この業界は特に「人材を育てる」のが難しい。何もつかめずに去っていく者も少くない。顧客の様々な要求に対応し、かつ新たな事業を行っていくためには、人材も色々な事ができる人を育てて行く必要がある。

現在は、仕事を安心して任せられる人材が育つよう進めており、それに向けて全社で努力している。

「人材を育てる」のは長い時間がかかることを痛切に感じているところである。



取締役 塚口 晃夫 氏

塚口 智継 氏

5 地域貢献を目指す

今後は自社の更なる発展を目指すと共に、地域へ積極的に貢献できる企業になれるよう努力していきたいとしている。

福知山商工会議所、福知山企業交流会、京都中小企業家同友会、京都産業21環の会などに参画している。



6 今後の経営方針

理念の実現のため、経営をさらに強固なものにし、従業員一人一人が技術の研鑽に努め、技と知恵で顧客の期待に応える、としている。



訪問日：11月18日 10:30～12:00 訪問先：(有)堀口鉄工所
面談者：代表取締役 堀口智・取締役 堀口晃夫・堀口智継
訪問者：センター長 福田利治・水嶋英雄